平成２９年度　自己評価・学校関係者評価　報告書（渉外部）

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校番号	１０５

自己評価

学校教育目標	・夢の実現に向け自ら学び自ら考え、生き生きと表現できる児童生徒を育てる。 ・心のふれ合いを大切にし、自他共に尊重できる児童生徒を育てる。

評価する領域・分野	保護者、地域との連携
現状及びアンケートの結果分析等	・「保護者と職員が一体となって、ＰＴＡ活動が展開されている」について昨年より1%上がり84%であり、概ね高評価を得ている。ＰＴＡが意欲的に活動していることが高評価継続の要因とみられる。 ・「開かれた学校を目指して、地域ボランティア等と協力している」が26年度より55%、71%、67%と推移し、今年度は73%と過去最高になった。過去もボランティアが入ってもらっていたが、行事の度に学校長がボランティアの方に全体の場でお礼をされる姿やＰＴＡだより等で地域やボランティアの活動を広報していることで、地域やボランティアとのつながりが少しずつ周知されてきたと思われる。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	・ＰＴＡ活動全般の企画・運営が円滑に行われるよう学校と保護者の連携を密にして相互理解を深めるとともに、広報活動の工夫をする。 ・同窓会会員相互の連携を深めるよう　同窓会の活動を支援する。 ・関係諸団体及び関係諸機関との連携を図り、それぞれの運営に参加・協力する。
重点目標を達成するための校内組織体制	・ＰＴＡ活動ごとに担当職員を置き、保護者と連絡を取りながら活動を推進する。 ・ＰＴＡだよりや学校ホームページで実施する事業やボランティア協力について掲載する。 ・同窓会や後援会の役員と連携を取りながら同窓会活動の企画運営を行う。 ・地域や関係機関に対して本校の情報を発信し、本校への理解を得る。
目標の達成に必要な具体的取組	・ＰＴＡ研修会の開催、ＰＴＡだよりの発行、ベルマーク収集作業、ゆめフェスタでのＰＴＡバザー等を実行委員会中心に実施する。 ・ＰＴＡ事業案内を学校ホームページへ掲載したり、ボランティアに来ていただいた方の広報をしたりする。 ・同窓会だよりの発行および同窓会役員会３回、同窓会総会、同窓会&成人を祝う会の企画運営を役員中心で行えるように推進する。 ・行事の直前だけではなく年間を通じて、関係機関に働きかけてボランティア参加を呼びかけ協力を得る。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	・ＰＴＡおよび同窓会の活動が年間計画に沿って充実してできたか。 ・関係諸団体及び関係諸機関へボランティア活動の依頼を計画的に行ったか。
取組状況・実践内容等	・保護者と連携を密にしてＰＴＡ研修会開催、ＰＴＡだより発行、ベルマーク収集作業、ゆめフェスタでのＰＴＡバザー等を実行委員会中心に実施した。 ・同窓会および後援会役員と連携を取り、同窓会役員会３回、同窓会総会、同窓会&成人を祝う会の企画運営と同窓会だよりの発行を行った。 ・学校行事の際、関係機関に働きかけてボランティア参加を呼びかけ、協力を得ることができた。また、協力いただいた団体について、ＰＴＡだより等を通じて、会員にも伝えていくようにした。

評価の視点	評価
①　ＰＴＡ実行委員と連携を密にして、計画した活動を円滑に実施できたか。	Ａ　Ⓑ　Ｃ　Ｄ
②　役員相互が話し合って同窓会&成人を祝う会を企画運営できるように、連携を取り合い支援できたか。	Ａ　Ⓑ　Ｃ　Ｄ
③　関係諸団体及び関係諸機関へのボランティアの依頼とＰＴＡ会員への広報活動を行ったか。	Ａ　Ⓑ　Ｃ　Ｄ

成果・課題	総合評価
○ＰＴＡ実行委員と活動内容や運営方法等の打ち合わせを密に行い、相互理解を深めながら積極的に活動を進めることができた。 ○ＰＴＡ実行委員が実施したい活動内容や運営方法等に沿って、実行委員自身が自発的に文書作成をしたり改善を試みたりして、主体的に動くＰＴＡ活動になりつつある。来年度は節目の年で行事も多く、実行委員のメンバーも随分変わるため、ＰＴＡと職員との連携や準備が必要である ○同窓会および後援会役員と連携して、役員主体に同窓会活動が行えるように支援することができた。 ○県のボランティア団体「学生ボラネット」の登録や介護等体験者へのボランティア募集等、活発にボランティア協力依頼をした。 ▲岐阜本巣サポーター『ちちから』を立ち上げ活動をしはじめたが、参加者は少ない。ＰＴＡだより等を通してボランティア活動の状況を広め、参加者を広げる工夫をする。 ▲ボランティア参加者の活動について報告し、協力を得ていることを認知してもらうように、今後も広報活動の方法を工夫する。	Ａ　Ⓑ　Ｃ　Ｄ

来年度に向けての改善方策案	・ＰＴＡが更に主体的に活動を実施できるように支援する。 ・同窓会後援会役員のメンバー構成変更にともない、成人を祝う会の運営方法や活動内容を継承しつつ、会員が一層主体的に活動できるように支援する。 ・様々な機会や方法を利用して、本校の情報やボランティア依頼を発信するようにする。

学校関係者評価　（平成３０年２月１日実施）

意見・要望・評価等

・ゆめフェスタに参加させていただき、生徒、先生、保護者の皆さんに笑顔を見せてもらいました。
・今後ともこのスタイルで実行される事が大切と感じます。